資料2

阿武隈川上流遊水地群地内利活用検討会　第３回検討会

第５回・第６回作業部会の振り返り

阿武隈川上流遊水地群地内利活用検討会　第5回作業部会　開催概要

〈開催概要〉

鏡石町 玉川村	日　時	2025年6月3日(火)13:30～15:30
	場　所	鏡石町健康福祉センター(ほがらかん)
	参加人数	鏡石町20名(1階　多目的ホール) 玉川村18名(2階　会議室)
矢吹町	日　時	2025年6月17日(火)10:00～12:00
	場　所	矢吹町文化センター
	参加人数	19名

〈作業部会の流れ〉

1. 作業部会の進め方と これまでの振り返り		事務局より、前回作業部会で出た意見、検討会での報告内容などを確認
2. 地内利活用についての意見交換	①ゾーニングの条件、検討例の説明	条件付き利活用エリアや事務局で検討したゾーニング案について事務局より説明
	②オリエンテーション	話し合いの進め方や時間配分、留意事項について説明
	③これまでの作業部会の内容の確認	これまでの作業部会で出た利活用の方向性、大事にしたいことなどを確認
	④疑問の解消	意見交換に入る前に疑問点を解消するための質疑応答
	⑤一言チェックイン	出席者の自己紹介(名前・所属、今日期待することなど)
	⑥グループワーク	・今まで出た意見の中で気になることなどを確認 ・各利活用の配置や動線に関する条件や要望などを確認 ・条件付き利活用エリアの大判図面に記載
	⑦各グループの成果の共有	各グループでのグループワークで、整理した内容について出席者全員に共有



【矢吹町作業部会の様子】



【鏡石町作業部会の様子】



【玉川村作業部会の様子】

阿武隈川上流遊水地群地内利活用検討会　第5回作業部会　グループワーク実施概要

※3自治体(鏡石町、矢吹町、玉川村)全ての作業部会において、グループワークは同様の手法にて実施。写真は実施イメージとして掲載したもの。

①グループワークの目的

地元住民からの意見を、ゾーニングへ反映させるため、各自治体で2グループ(意見を出しやすい規模:各グループ10名程度)に分かれ、グループワークを実施。

(※それぞれのグループでの進め方は同様の方法とした。)

②グループワークでの意見交換の進め方



ファシリテーターの進行のもと、一言チェックイン(意見交換に期待することなど)で、各グループにてアイスブレイクを実施。



ファシリテーターの進行のもと、意見交換を実施。
ゾーニング(事務局案)を提示し、参加者から、課題や留意点について、意見を聞く(自由に発言)。
出された意見は、ポストイットへの貼り込み、模造紙への記載により整理。

③グループワークの結果・発表

2グループが集合、各グループで出された意見について、相互に発表し合い、**共通点や相違点を確認し合う。**

最後に条件の洗い出しとして、地元住民として外せない意見などをとりまとめ。









阿武隈川上流遊水地群地内利活用検討会　第6回作業部会　開催概要

〈開催概要〉

玉川村	日　時	2025年12月16日(火)13:30～15:10
	場　所	たまかわ文化体育館 クラブハウス
	参加人数	13名
鏡石町	日　時	2025年12月17日(水)10:00～11:30
	場　所	鏡石町健康福祉センター(ほがらかん)　1階会議室
	参加人数	17名
矢吹町	日　時	2025年12月18日(木)15:00～16:30
	場　所	矢吹町複合施設KOKOTTO
	参加人数	14名

〈作業部会の流れ〉

情報共有 振り返りとこれまでの	(1)第5回作業部会の振り返り	● 前回作業部会で出た意見、検討会での報告内容について、事務局より説明。 ● 試験ほ場の取組状況や、阿武隈川緊急治水プロジェクトの変更したポイントについて事務局より説明。
	(2)試験ほ場の取組状況報告	
	(3)阿武隈川緊急治水プロジェクトの変更	
意見交換 地内利活用についての	(1)本日の話合いのポイント	● 第5回作業部会までの結果を踏まえ、官民連携による地内利活用を進めることを事務局より共有。 ● 併せて、浜尾遊水地での官民連携による先行的な取組を進め、そのノウハウを上流遊水地群へ活かすスキームとすることを事務局より共有。 ● 上記の官民連携へのシフト、浜尾遊水地利活用検討に伴い、今後の作業部会のあり方を事務局より共有。 ● 上流遊水地群の地内利活用検討にあたっては、視覚化ツールを活用した情報共有を目指すため、VRのデモンストレーションを事務局にて実施。
	(2)ゾーニングの方向性(案)	
	(3)今後の地内利活用検討の進め方	
	(4)今後の作業部会のあり方	
	(5)意見交換	



【玉川村作業部会の様子】



【鏡石町作業部会の様子】



【矢吹町作業部会の様子】

阿武隈川上流遊水地群地内利活用検討会　第6回作業部会　意見まとめ

〈主な意見〉　事務局からの情報共有に対して、意見交換時に参加者からあげられた主な意見について、とりまとめた。

上流遊水地群の地内利活用に関する意見	農地関連	● 上流遊水地群のスケジュールの変更（5年後に完成）により、高齢化等を踏まえて農業従事者の状況も変わり、農家の参入が厳しくなるのではないか。農地の整備にあたっては、農家の要望も聞く必要がある。（玉川村） ● 田んぼや畑以外の方法で利活用する場合でも、実証実験に近い取組を事前に行うことは可能か。（玉川村） ● 畜産農家のたい肥が余っているという声を聞いている。企業による栽培や緑地整備をする場合は、たい肥を活用した循環型の利活用も検討してほしい。（鏡石町）
	エネルギー関連	● メガソーラーを設置する場合、国内動向も踏まえて検討してほしい。（玉川村） ● エネルギーの安全保障という視点も踏まえて、国と地域が連携して検討してほしい。（矢吹町）
	その他（景観面・堆積物・周辺への効果について）	● 土砂や木などの堆積物のシミュレーション結果を踏まえ、遊水地を貯水で活用した後の復旧も見据えた、地内利活用を検討してほしい。（玉川村） ● 福島空港離着陸の際など、遊水地を見た際に、素晴らしいと思える景観を整備してほしい。また、この景観を維持するために、若い世代とも協議するべきではないか。（鏡石町、矢吹町） ● 上流遊水地群整備にあたっては、観光や福島空港などの活性化も見据え、県全域への波及効果についても考慮してほしい。（鏡石町）
浜尾遊水地に関する意見		● 浜尾遊水地にて試行して、そこで得られたノウハウを上流遊水地群へ活かす取り組みは良い。（鏡石町） ● 遊水地整備による効果が、下流の自治体にも理解されるよう、利活用の検討を行ってほしい。（鏡石町） ● 浜尾遊水地でも、企業以外にも学生や子どもたちの意見を聞いて、利活用の検討を進めてほしい。（矢吹町）
官民連携に関する意見		● 遊水地の利活用について、管理が行き届かないことを心配していた。官民連携による地内利活用は良いことであると考えている。（玉川村、鏡石町） ● 令和11年度以降のスケジュール、企業へヒアリングした結果なども、今後共有してほしい。（玉川村、矢吹町）
VR活用に関する意見		● 時間帯による日光の跳ね返りなど、状況に応じたシミュレーション実施についても、検討してほしい。（鏡石町）